

令和6年3月4日  
渋谷区立鉢山中学校  
校長 小幡 政明  
担当 副校長 菱田 千晶

## 令和5年度 学校評価まとめ

### ●学校評価 実施目的

「渋谷区立学校 学校評価実施要綱」に基づき、本校が組織体として、その機能をどの程度果たしたかを総合的・客観的に評価し、その結果にもとづいて建設的な改善策を立て、来年度の教育活動の充実・向上を図る。また、保護者・地域住民等の理解と参画を得て、連携協力による学校づくりを進めていくために、その結果を公表・報告する。

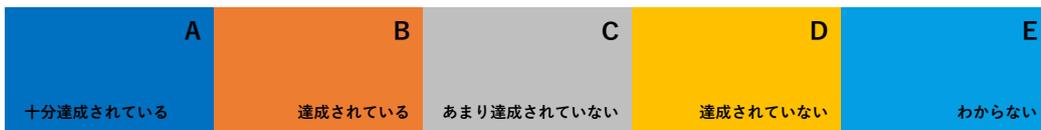
実施期間：令和5年12月

保護者・地域：91名（回答数）

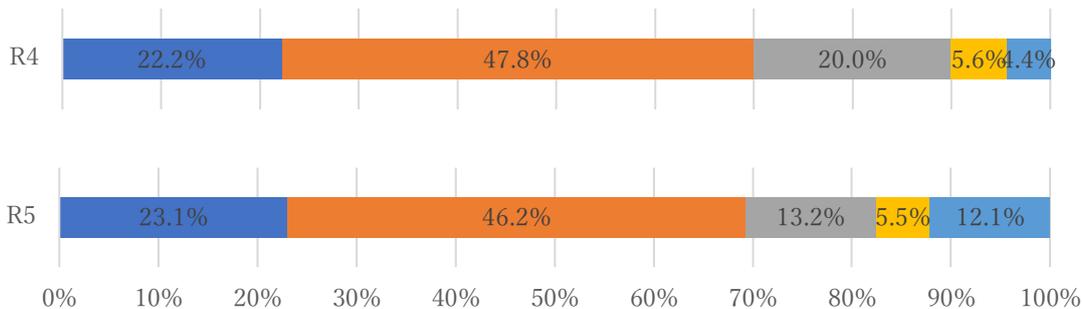
実施方法：無記名方式

公開方法：学校評価委員会を経て、区に報告および本校 HP にて公表

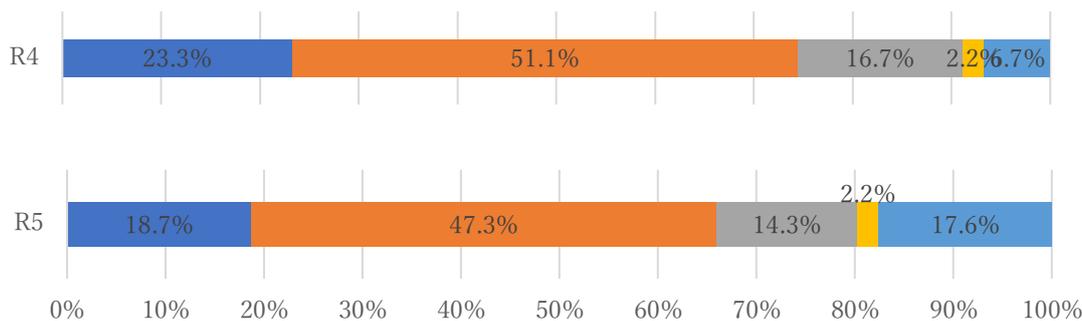
回答内容：A～E の5段階



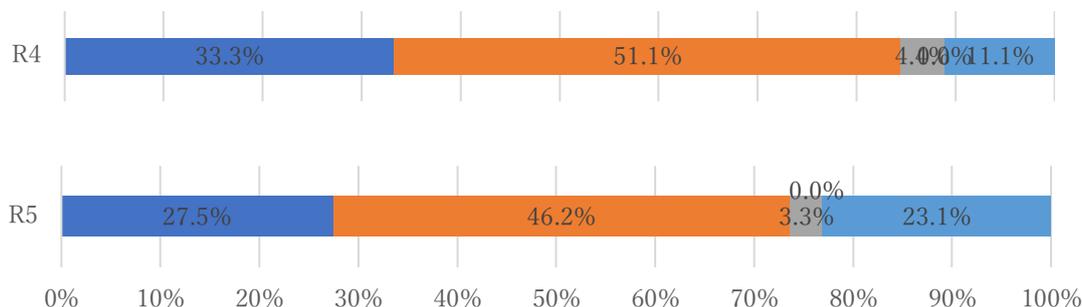
### 1 お子さんは自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。



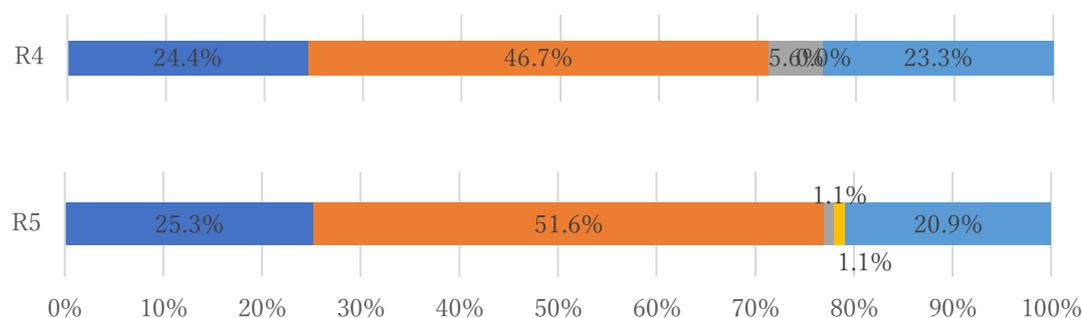
### 2 学校は、お子さんの進捗や習熟度に応じた授業や学習支援を行っていますか。



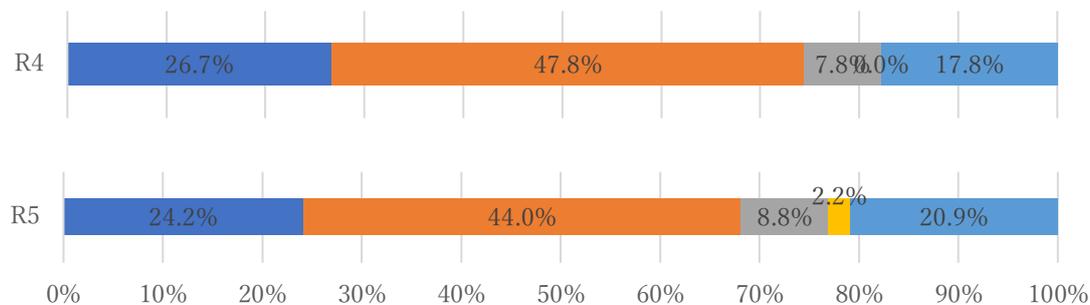
3 学校は、子供同士で意見交換をしたり、調べたりするなど、協働的・対話的な学びがある授業を行っていますか。



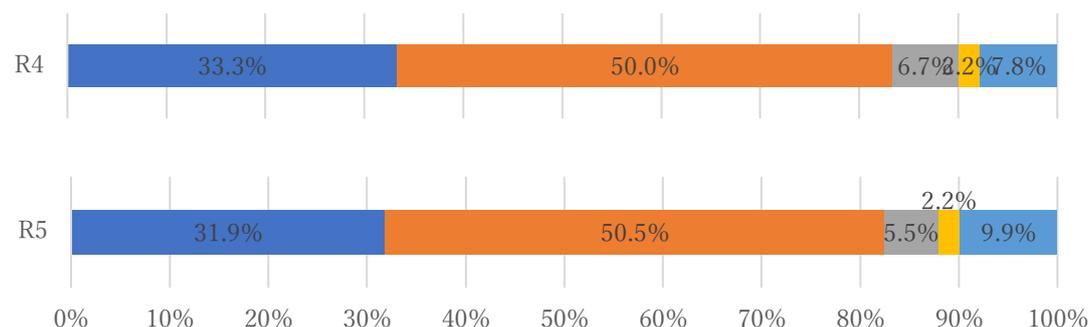
4 学校は、「シブヤ未来科」の学習を通して、自ら課題を設定して解決への見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。



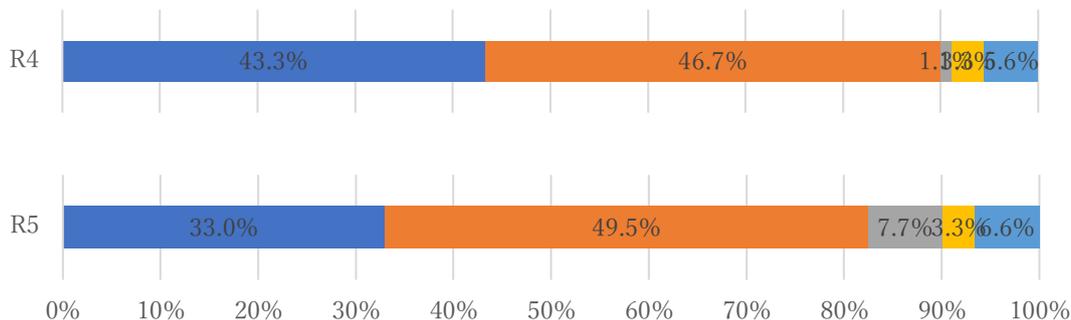
5 学校は、前出の質問①から④の授業を推進するために、お子さんのタブレット端末を効果的に使っていますか。



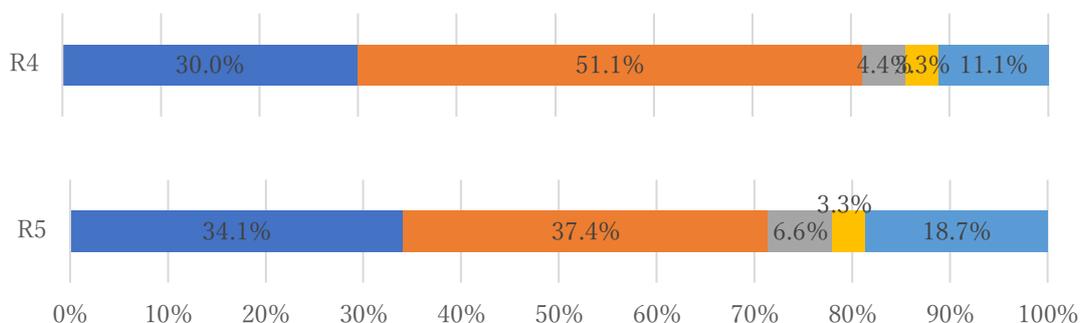
6 お子さんは安心して学習に取り組むことができましたか。



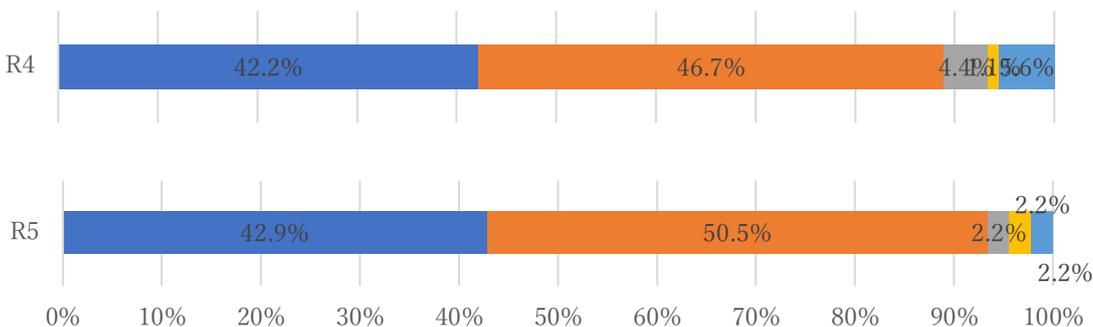
**7 学校は、お子さんや保護者の相談に誠実に対応していますか。**



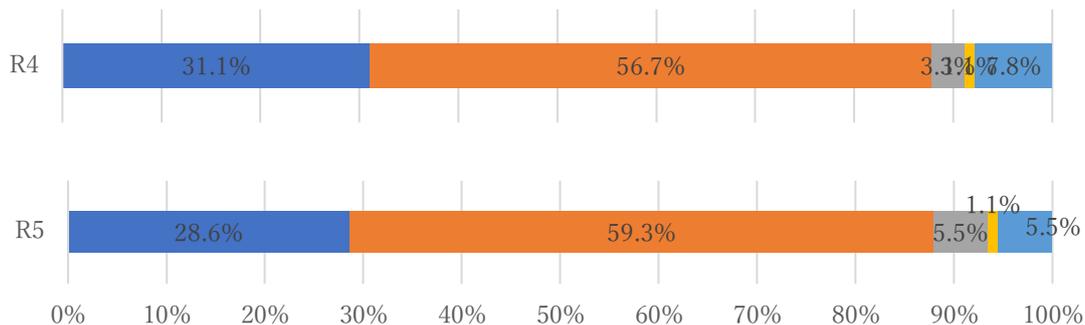
**8 学校は、いじめ対応の方針をお子さんや保護者に明確に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。**



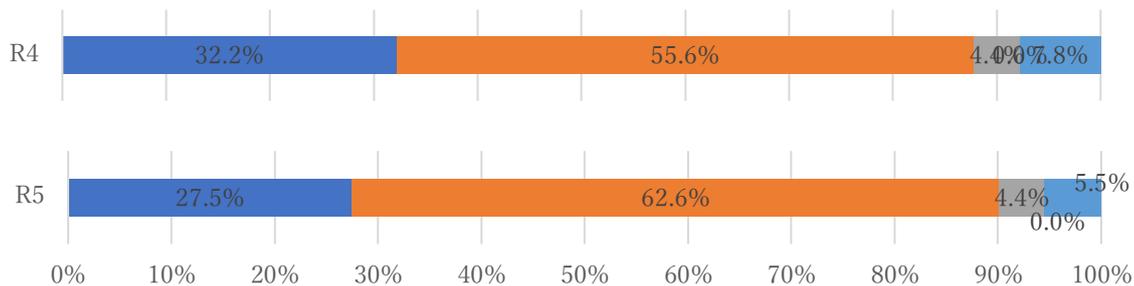
**9 学校は、学校だよりなどの配布物や調査等について、学校ホームページや Home&School などを利用して、ペーパーレス化を推進していますか。**



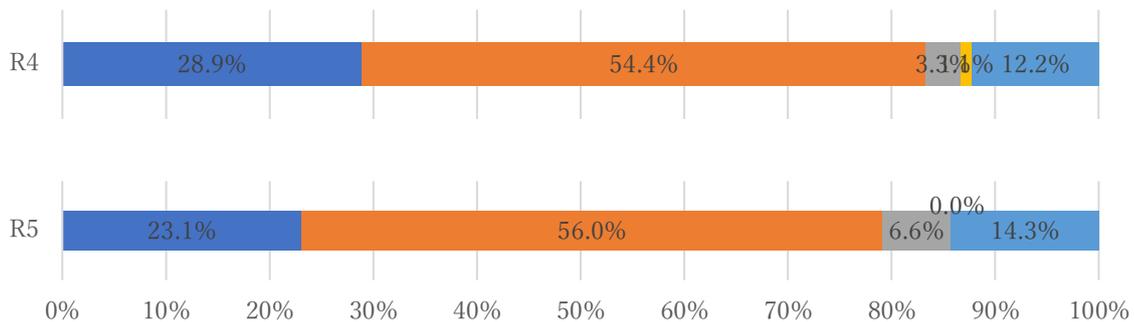
**10 学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていますか。**



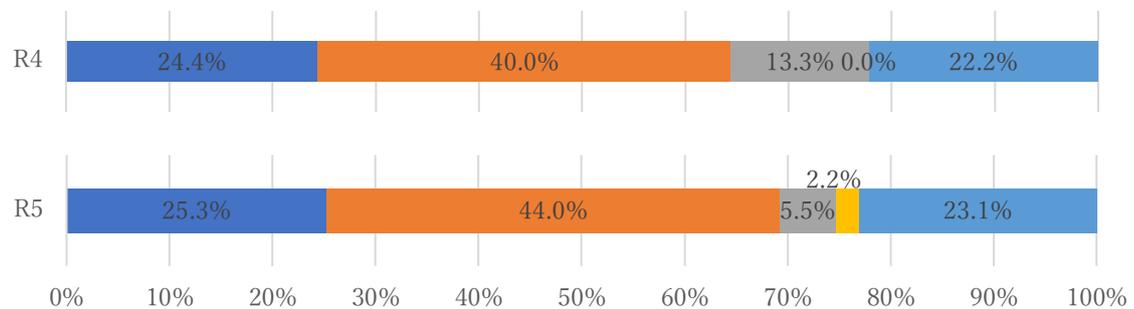
**11 学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。**



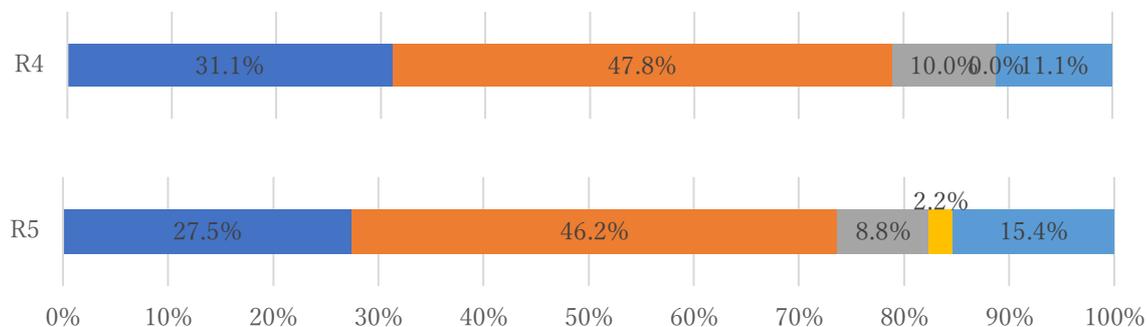
**12 学校の教育活動は、学校の特色が表れたものになっていますか。**



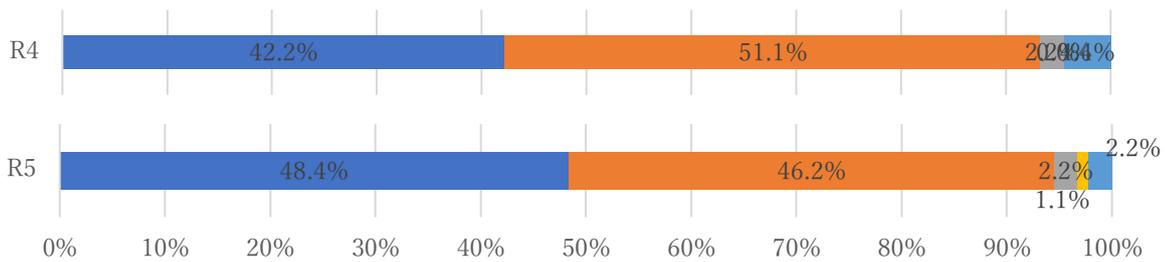
**13 学校は、デジタル・シティズンシップが身に付くようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか。**



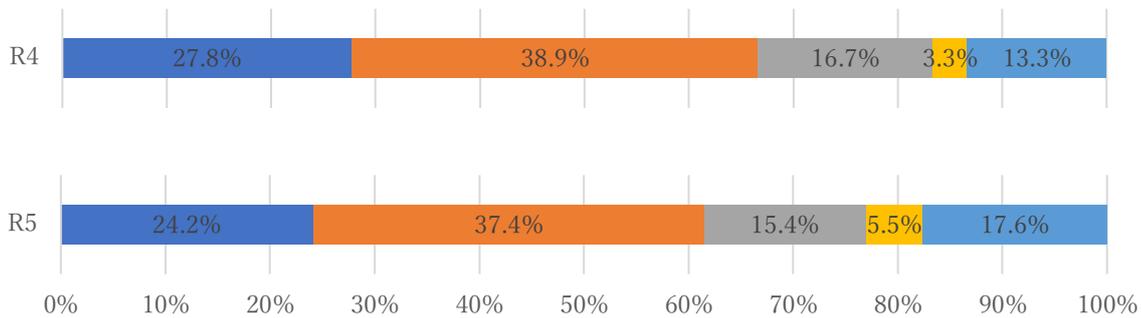
**14 (理数教育重点校) 学校は、おもしろ理科講座やプログラミング教育を行い、理数教育への興味・関心を高めていますか。**



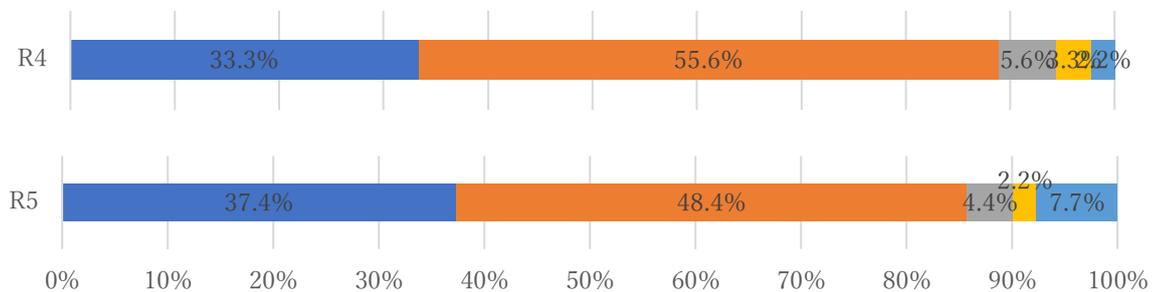
**15 (学校行事) 学校は、運動会などの学校行事を充実させ、自主的な活動を促していますか。**



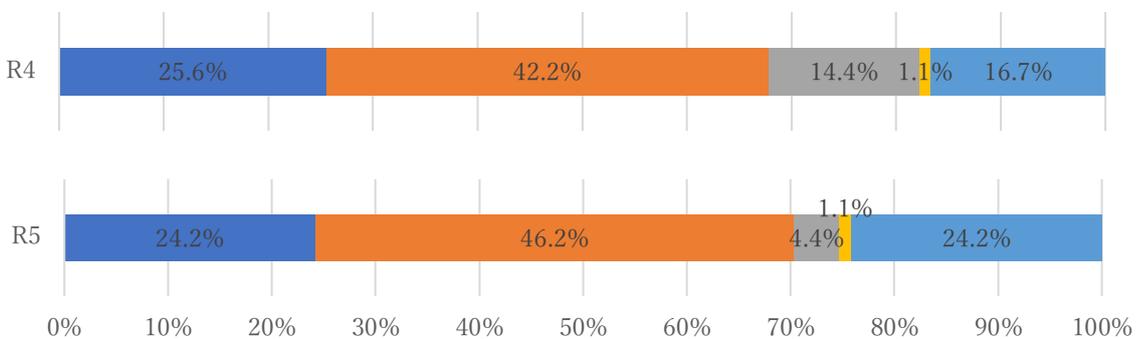
**16 (学習習慣) 学校は、宿題や課題などで学習習慣を身に付けさせ、家庭学習に取り組めるようにしていますか。**



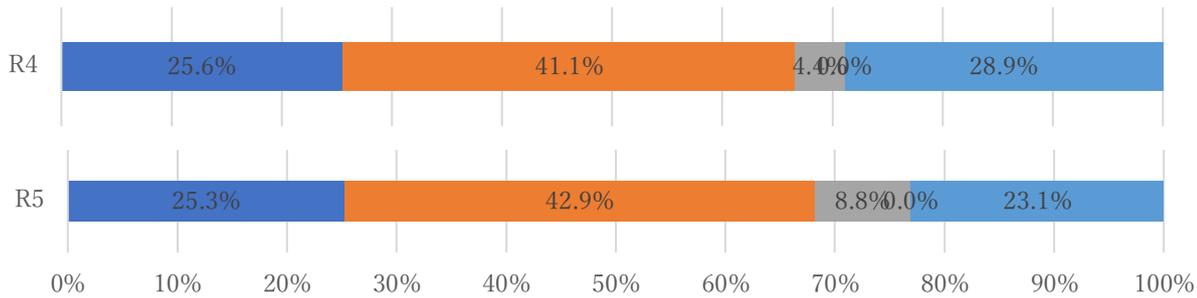
**17 (生活指導) 学校は、社会のルールや安全性について適切に指導し、特に挨拶を大切に、生き生きとした学校生活を送るように指導していますか。**



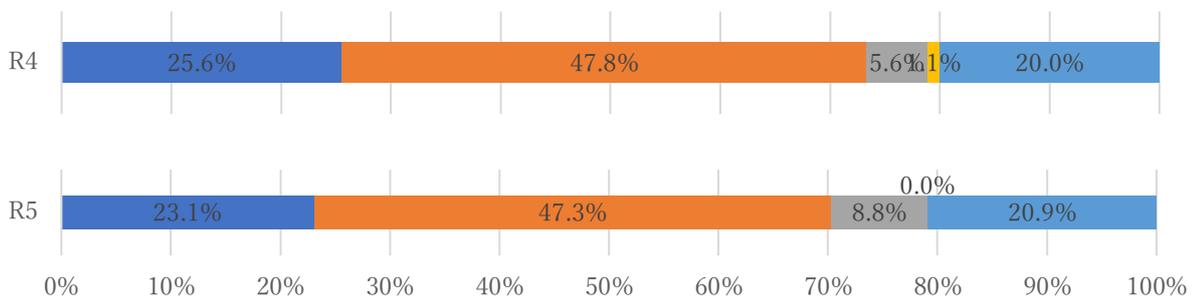
**18 (読書活動) 学校は、学校図書館の活用を図り、生徒の読書活動をすすめていますか。**



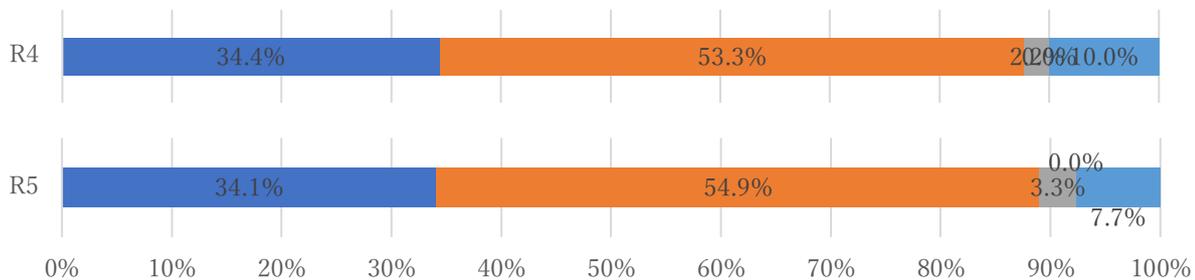
19 (国際理解) 学校は、外国の生徒との交流を通して、異文化を理解する力や主体的に考え行動する力を育んでいますか。



20 (新聞活用教育) 学校は、新聞をさまざまな学習に活用することで、社会への関心を高め、考えを深める教育をしていますか。



21 (健康安全) 学校は、生徒の防災、交通安全、健康について積極的に活動していますか。



【分析】

質問項目が、昨年度から変更がなかったため、グラフは令和4年度・5年度を比較したものにしました。

項目は大きく6つに分かれていて、1 新たな学びの実現(授業 DX)(質問1~5)、2 安心・安全に挑戦できる環境(質問6~8)、3 校務 DX への取組(質問9)、4 家庭・地域との協働(質問 10,11)、5 特色のある教育活動(質問 12,13)、6 学校独自項目(質問 14~21)であった。

項目1への回答では、質問2・3の回答 A・Bが減少した。生徒の学習進度に応じた支援ができていないか、協働的・対話的な学びがある授業ができていないかに対しては、評価が下がった。学校としては、評価結果を真摯に受け止め、来年度は土曜日授業に多くの地域・保護者の方々に授業を参観していただき、本校の教育活動をよりご理解いただけるように発信する。また、公開授業を活用して、来年度バージョンアップする「シブヤ未来科」の授業や発表も、内容を充実させて多くの方々に参観していただけるようにする。

また、項目1・2では、回答E「わからない」が増えたことも特徴的であった。PTA や地域の方々の協力を得て、本校の教育活動がより開かれたものになるように実践していく。